

令和2年度 教育指導におけるコミッショナー方針

ボーイスカウト福島連盟
県連盟コミッショナー
大槻 富寛

『活動的で自立したスカウトを育てよう』

2022年ボーイスカウト日本連盟は、創立100周年を迎える。100周年を前に、一度スカウト活動の見直しをしましょう。キーワードは「振り返り・修正・実行」です。

スカウト運動の目的は、「青少年が個人として、責任ある市民として、地域、国、国際社会の一員として、身体的、知的、社会的、精神的な潜在的能力を十分に達成するよう彼らの発達に貢献することである」

◎団はスカウトに何をするのか。

団の役割。それぞれのスカウトの成長に責任を持つ事。

1) 団内面接(激励)会を開催する。

・ビーバースカウトもカブスカウト・ボーイスカウトも、進級や上進時に活動の感想や励ましをする。※地区承認及び県連面接会＝菊章・隼章・富士

2) 団委員会からの委嘱

・ビーバー隊。補助者(隊長推薦)
・カブ隊。①デンリーダー(隊長と保護者の協議に基づき) ②インストラクター(チャレンジ章、隊長の推薦)③デンコーチ(BSorVS スカウト派遣・所属隊長承認)

3) BSorVS スカウトに対し、団委員長から技能章指導員・考査員の推薦。

・指導員に対し地区委員長名で委嘱状。考査員に対し連盟長名で委嘱状を交付。

◎新進級制度の取り組み(2019年4月から)

1) 進級(二級章～菊章)に関わる技能章は、隊長の認定。

※隊長は、スキルトレーニングを履修する事。☆年2回、指導者集会の実施。

※指導者のニーズに合ったラウンドテーブルの企画と実施。

2) 野営管理章・救急章・パイオニアリング章及び技能章指導員・考査員名の公表。

※県プログラム委員会は、技能章指導員及び考査員名簿を公表する。(83課目)

3) 1級、進級課目。連続5泊以上のキャンプ。VS 隼訓練会の再構築。

※団でのプログラム実施が困難の時は、地区や県連で計画実施する。

◎ローバースカウト活動への支援

※RCJ 北海道・東北ブロックイベントの活用。大学ローバー隊の発隊。

☆現ローバースカウトの姿が「良き社会人」のモデルです。

◎スカウトに危害を加えるような行為を未然に防ぐ「セーフ・フロム・ハーム」

※思いやりの心を育む活動へ。セミナーや登録前研修 eラーニングの実施。